

愛知県ワクチン接種推進本部
第6回会議次第

日時：2021年12月14日（火）
午後1時～午後2時
場所：愛知県庁本庁舎 6階 正庁

1 挨拶

2 議題

(1) 追加接種（3回目接種）の概要について

- ・接種体制について
- ・職域接種について
- ・大規模集団接種会場の開設について

(2) 小児への接種について

【配付資料】

- 資料1 愛知県のワクチン接種の状況
- 資料2 追加接種（3回目接種）の概要について
- 資料3 愛知県のワクチン供給スケジュール（3回目接種）
- 資料4 地域担当卸について
- 資料5 副反応等に対する相談体制
- 資料6 職域単位での追加接種（職域追加接種）の基本コンセプト
- 資料7 大規模集団接種会場について
- 資料8 小児への接種について

愛知県ワクチン接種推進本部
第6回会議 出席者名簿

(本部員)

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属 等
あさい きよかず 浅井 清和	公益社団法人 愛知県医師会 副会長 (浅井内科 院長)
いわせ みつのり 岩瀬 三紀	一般社団法人 愛知県病院協会 常務理事 (トヨタ記念病院 病院長)
きくち ひとし 菊池 均	名鉄病院予防接種センター センター長
きむら つよし 木村 剛	名古屋市健康福祉局 新型コロナウイルス感染症対策部長
しぶや いづみ 澁谷 いづみ	瀬戸保健所長
なかきた けいすけ 中北 馨介	愛知県医薬品卸協同組合 理事長
はやし やすかつ 林 保克	幸田町健康福祉部長：町村会
ひろせ やすのぶ 広瀬 安信	新城市副市長：市長会
ますの ひろひで 増野 裕英 【本部長】	感染症対策局 技監

(オブザーバー)

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属 等
いとう こうめい 伊藤 浩明	あいち小児保健医療総合センター センター長
つむら はるお 津村 治男	愛知県小児科医会 会長 (津村こどもクリニック 院長)

日時：2021年12月14日（火）

午後1時～午後2時

場所：愛知県庁本庁舎 6階 正庁

愛知県ワクチン接種推進本部第6回会議 配席図

愛知県感染症対策局
技監 増野 裕英



名鉄病院予防接種センター
センター長 菊池 均 ○

新城市副市長（市長会）
広瀬 安信 ○

幸田町健康福祉部長
（町村会）
林 保克 ○

愛知県小児科医会
会長 津村 治男 ○

あいち小児保健
医療総合センター
センター長 伊藤 浩明 ○

公益社団法人愛知県医師会
○ 副会長 浅井 清和

一般社団法人愛知県病院協会
○ 常務理事 岩瀬 三紀

愛知県医薬品卸協同組合
○ 理事長 中北 馨介

名古屋市健康福祉局
○ 新型コロナウイルス感染症
対策部長 木村 剛

愛知県瀬戸保健所長
○ 澁谷 いづみ

事務局

○ 愛知県感染症対策局感染症対策課
医療体制整備室長

○ 愛知県感染症対策局感染症対策課長

○ 愛知県感染症対策局技監

○ 愛知県感染症対策局長

○ 愛知県感染症対策局調整監

○ 愛知県感染症対策局感染症対策課
ワクチン接種体制整備室長

○ 愛知県感染症対策局感染症対策課
ワクチン接種体制整備室担当課長
（大規模接種）

○ 愛知県感染症対策局感染症対策課
ワクチン接種体制整備室担当課長

出入口

愛知県のワクチン接種の状況
(令和3年12月8日作成)

接種対象	1回目接種	2回目接種
① 医療従事者等への接種 [接種率母数：27万人]	412,872回 [152.92%]	365,473回 [135.36%]
うち 医療従事者への接種 (7月21日時点) 高齢者施設従事者への接種 (7月30日時点) 大規模接種会場でのキャンセル枠(県・市) (9月21日時点)	268,832回 64,081回 79,959回 v-sys登録済(44,822回) 未登録(35,137回)	250,097回 45,484回 69,892回 v-sys登録済(10,286回) 未登録(59,606回)
② 一般接種全体(高齢者接種含む) (12月7日時点実績) [接種率母数：640万人] 参考(全人口計算) [接種率母数：755.9万人]	5,411,013回 [84.55%] [71.59%]	5,356,133回 [83.69%] [70.86%]
うち65歳以上の高齢者接種 (12月7日時点実績) [接種率母数：188.7万人]	1,743,140回 [92.37%]	1,737,074回 [92.05%]
合計(12歳以上) [接種率母数：667万人] 参考(全人口計算) [接種率母数：755.9万人]	5,823,885回 [87.31%] [77.05%]	5,721,606回 [85.78%] [75.69%]
③ 職域接種回数 (12月1日時点実績) ④ うちVRS登録済数	781,817回 未入力 (141,987回) (639,830回)	775,994回 未入力 (140,998回) (634,996回)
合計(12歳以上)①+②+③-④ [接種率母数：667万人] 参考(全人口計算) [接種率母数：755.9万人]	5,965,872回 [89.44%] [78.93%]	5,862,604回 [87.90%] [77.56%]

計
v-sys登録済(55,108回)
未登録(94,743回)

計
未入力(282,985回)

【国公表数値との違いについて】

1 大規模集団接種会場でのキャンセル枠での接種実績について

愛知県では、大規模集団接種会場開設当初から、接種能力を最大限に生かすため、接種券が無い場合でも、キャンセル枠を活用した追加接種を積極的に行ってまいりました。

しかしながら、こうした追加接種の実績のうち、ワクチン接種円滑化システム(V-SYS)の運用が停止された7月22日以降の接種実績94,743回(1回目接種35,137回、2回目接種59,606回)は、国公表数値(医療従事者等の接種回数)に計上されていません。

キャンセル枠を活用した追加接種についても、県民の皆様にはワクチン接種を実施した実績に他ならないため、愛知県では、7月22日以降に接種した分も含め、これまでに実施したキャンセル枠の追加接種の総数を独自に集計し、上記表の「①医療従事者等への接種」欄の「大規模集団接種会場でのキャンセル枠(県・市)」に掲載しています。

なお、「大規模集団接種会場でのキャンセル枠(県・市)」には、県の大規模集団接種会場だけでなく、市(名古屋市、半田市、長久手市)の大規模集団接種会場において、接種券無しで接種した分も含まれています。

2 職域接種の実績について

職域接種については、現状、企業等におけるVRSへの登録が進んでいないため、実際の職域接種の接種状況とVRSの登録実績には隔りがあります。

愛知県では、県民の皆様には、実際の職域接種の状況を知っていただくため、上記表の「③職域接種回数」欄に、県で確認した職域接種の総接種回数を掲載しています。

なお、国公表の一般接種の接種実績には、VRSに登録済みの接種回数のみが計上されています。

愛知県の新型コロナワクチン接種の状況（年代別）について

- 令和3年12月7日時点における愛知県の新型コロナワクチン接種の状況（年代別）については、以下のとおりです。

- なお、以下のデータは、VRSに登録された**一般接種のみ**（医療従事者等を除く・VRSに登録された職域接種分を含む）の**ファイザー・モデルナ・アストラゼネカの合計**となっています。

(412,872回) (141,987回)

VRS未登録者（医療従事者等の全部+職域の一部）554,859回 12歳以上人口比 8.32%（単位：%）

1回目 接種率	10代 (12歳～)	20代	30代	40代	50代	60～64 歳	65歳 以上
12月7日	74.89	67.11	69.25	73.61	82.17	84.26	92.37
11月30日	74.69	66.68	68.98	73.38	81.89	84.15	92.31
伸び率	0.20	0.43	0.27	0.23	0.28	0.11	0.06

(365,473回) (140,998回)

VRS未登録者（医療従事者等の全部+職域の一部）506,471回 12歳以上人口比 7.59%

2回目 接種率	10代 (12歳～)	20代	30代	40代	50代	60～64 歳	65歳 以上
12月7日	73.21	65.85	68.26	72.90	81.64	83.92	92.05
11月30日	72.57	65.18	67.79	72.54	81.26	83.77	91.96
伸び率	0.64	0.67	0.47	0.36	0.38	0.15	0.09

追加接種（3回目接種）の概要について

資料 2

1 接種体制について

(1) 接種時期等について

ア 感染拡大防止及び重症化予防の観点から、1・2回目接種が完了していない者への接種機会の提供を継続するとともに、2回目接種完了者に対して追加接種の機会を提供するため実施する。これに伴い、**新型コロナウイルス感染症に係る臨時接種の実施期間を令和4年2月28日から令和4年9月30日まで延長する。**

イ 国は、2回目接種完了からの接種間隔について、**原則8ヶ月以上とするが、感染拡大防止を図る観点から特に必要と認められる場合は、例外的に8ヶ月以上の間隔をおかずに接種を行うことを差し支えないとしている。**

<例外的に8ヶ月以上の接種間隔を短縮できる対象者について>

- 医療機関等においてクラスターが発生した場合に、当該医療機関等の入院患者、医療従事者等
- 同一保健所管内の複数の医療機関等でクラスターが発生した場合に、当該医療機関等の所在する保健所管内の医療機関等の入院患者、医療従事者等

(2) 使用するワクチン

- ・ mRNA ワクチン（ファイザー社又は武田/モデルナ社）を使用。
- ・ 1回目・2回目に用いたワクチンの種類によらない（交互接種を可能とする）。
- ・ 当面は、**薬事承認されたファイザー社ワクチンを使用。**
(武田/モデルナ社ワクチンについては、11月10日に追加接種に関する薬事申請がされており、承認後、追加接種に使用見込み。)

(3) 接種対象者及び接種回数

18歳以上の方で、1・2回目接種完了から原則8ヶ月以上の間隔をおいた方を対象に1回接種する。

(4) 地域担当卸について

1・2回目接種時と変更なし。

(5) 副反応に対する相談体制について

1・2回目接種時と変更なし。

2 職域接種について

(1) 基本的な考え方

新型コロナワクチンの接種に関する地域の負担軽減を図るため、企業・大学等を対象に追加接種（3回目接種）を実施する（**2022年3月から開始予定**）。

(2) 使用するワクチン

武田/モデルナ社ワクチン

(3) 対象企業

原則として、1・2回目接種を実施した同じ企業・大学等のうち、実施を希望する企業・大学等

(4) 実施体制

実施体制・運用方法等は1・2回目接種と同様、会場や医療従事者等を企業等が**自ら確保**し、1会場当たり**1,000人以上への接種**を行うことを原則とする。

3 大規模集団接種会場の開設について

(1) 基本的な考え方

主に1・2回目接種を大規模集団接種会場で受けた方を対象に、モデルナ社ワクチンの接種機会を提供するため、**県の大規模集団接種会場を県内6か所に開設予定**。

(2) 使用するワクチン

武田/モデルナ社ワクチン

愛知県のワクチン供給スケジュール(3回目接種)

資料3

時期	国からのファイザー社ワクチンの供給		備考 (矢印の終了時期は目安)	国からのモデルナ社ワクチンの供給	備考
2021年 11月	11/15週	第1クール 172箱(201,240回分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1・2回目接種余剰在庫(11月末時点) 約580,000回</div> 【第1クール】 12月より接種開始予定 12月・2022年1月に接種対象となる者向け ※対象者数:主に医療従事者 約215,000人		・モデルナ社ワクチンによる3回目接種については、早くとも2022年2月以降の予定。
	11/22週				
	11/29週				
12月	12/6週	第2クール 483箱(565,110回分) (累計) 655箱 766,350回 ※国から県へは558箱の配分あり (うち75箱(87,750回)は新12歳の1・2回目接種用)	(12月～3月に新たに12歳となる者向け(1・2回目接種用) ※対象者数:23,509人(47,018回)		
	12/13週				
	12/20週				
	12/27週				
2022年 1月	1/3週				
	1/10週				
	1/17週				
	1/24週			第1クール 5,836箱(875,400回分) ※1バイアル15回以上接種可能な注射器を使用	
	1/31週				
2月	2/7週	第3クール ※供給時期は追って示される 346箱(404,820回分) (累計)1,001箱 1,171,170回	【第2、3クール】 2022年2月・3月に接種対象となる者向け ※対象者数:主に高齢者 約1,730,000人 (第2、3クール合計829箱(969,930回))		【第1クール】 2022年2月・3月に接種対象となる者向け ※対象者数:大規模接種分 約100,000人
	2/14週				
	2/21週				
	2/28週				
3月	3/7週				
	3/14週				
	3/21週				
	3/28週				

【3回目接種用ワクチンの供給量について】

使用可能なワクチン	回数	
ファイザー1・2回目余剰在庫分(11月末現在)	580,000	
ファイザー第1クール(11/15週～11/22週)	201,240	
ファイザー第2クール(12/13週～12/20週)	うち新12歳用	87,750
	うち3回目用	565,110
ファイザー第3クール(2022年2月頃)	404,820	
モデルナ第1クール(2022年1/24週～)	875,400	
3回目接種供給合計		2,134,320
ファイザー 1,258,920	うち新12歳用	87,750
	うち3回目用	2,046,570
モデルナ 875,400		
在庫込みの総計		2,714,320
ファイザー 1,838,920	うち新12歳用	87,750
	うち3回目用	2,626,570
モデルナ 875,400		

(参考) 新12歳分対象者数(12月～3月): 23,509人
第2クールで75箱(87,750回分)を充当

【3回目接種の接種対象者について】

接種対象者	人数
12月・1月接種対象者(医療従事者等・一部の高齢者)(5月末までに2回接種完了者)	215,000
2月・3月接種対象者(主に高齢者)(6月～7月末までに2回接種完了者)	1,870,000
うち1・2回目ファイザー接種済者	1,730,000
うち1・2回目モデルナ接種済者 ※	140,000
総合計 (12月～3月末までの接種対象者)	2,085,000
うち1・2回目ファイザー接種済者	1,945,000
うち1・2回目モデルナ接種済者 ※	140,000

※2・3月職域接種対象者約40,000人を含む

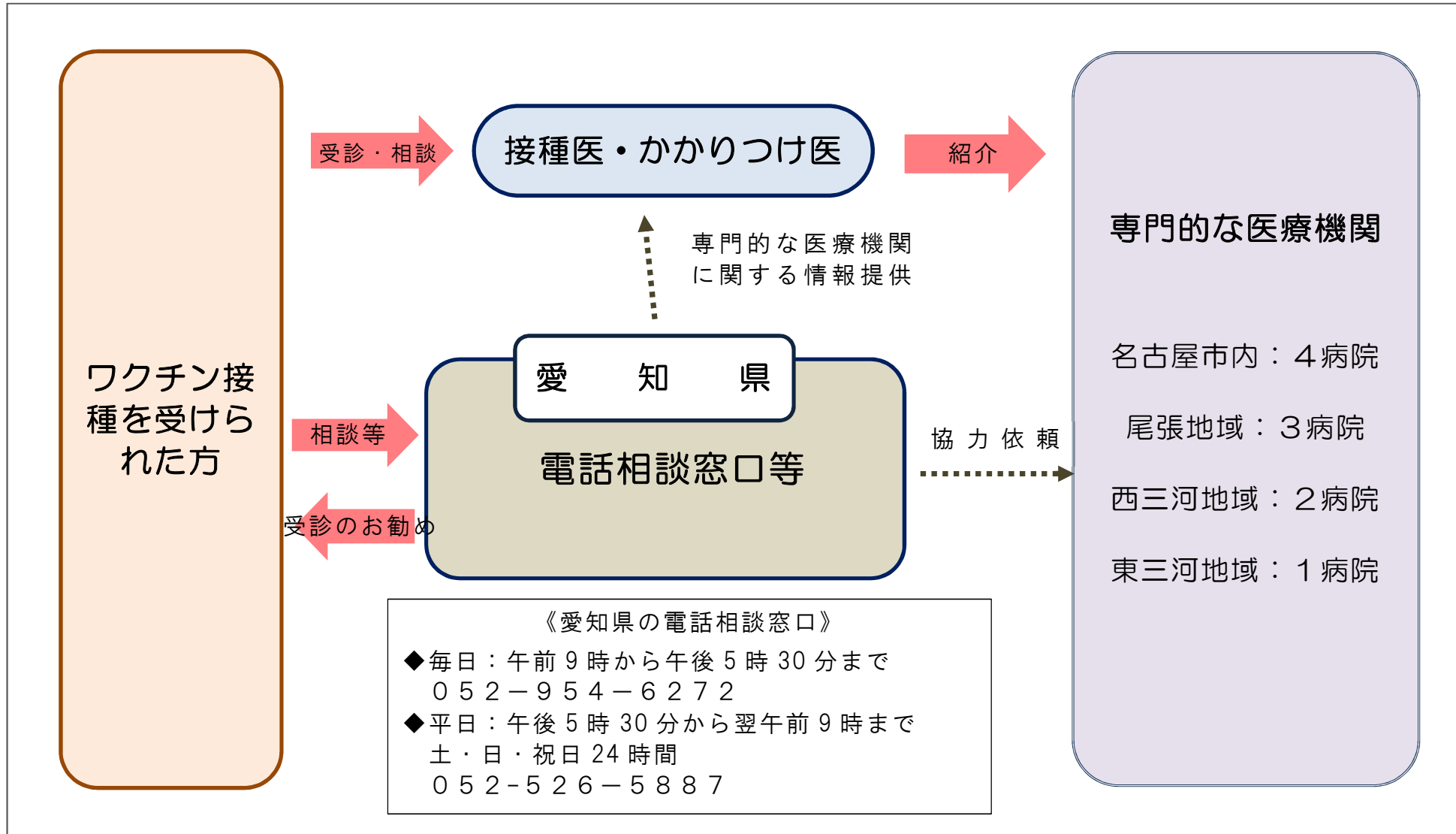
※3回目接種の対象:18歳以上の者(接種間隔:2回目接種完了から原則8ヶ月以上を想定)

地域担当卸について

二次医療圏名	区域	地域担当卸
名古屋・尾張中部	名古屋市	(株) スズケン
	清須市、北名古屋市、豊山町	中北薬品 (株)
海部	津島市、愛西市、弥富市、あま市、 大治町、蟹江町、飛島村	中北薬品 (株)
尾張東部	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、 長久手市、東郷町	中北薬品 (株)
尾張西部	一宮市、稲沢市	中北薬品 (株)
尾張北部	春日井市、犬山市、江南市、小牧市、 岩倉市、大口町、扶桑町	アルフレッサ (株)
知多半島	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、 阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町	アルフレッサ (株)
西三河北部	豊田市、みよし市	東邦薬品 (株)
西三河南部東	岡崎市、幸田町	(株) メディセオ
西三河南部西	碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、 知立市、高浜市	(株) メディセオ
東三河北部	新城市、設楽町、東栄町、豊根村	アルフレッサ (株)
東三河南部	豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市	アルフレッサ (株)

副反応等に対する相談体制

資料 5



1. 基本的な考え方

- 地域の負担を軽減するため、令和4年3月より、職域（学校等含む）単位での追加接種を開始予定。
- 職域追加接種の実施・運用方法等は、基本的に1・2回目接種と同様とする（一部の手続きや要件を変更）。

2. 実施・運用方法等

- (1) 使用するワクチン：1・2回目接種と同様、武田/モデルナ社ワクチンの使用（予定）
- (2) 対象企業等：1・2回目接種を実施した企業・大学等のうち、実施を希望する企業・大学等
- (3) 実施要件
 - 1・2回目接種と同様、会場や医療従事者等は企業や大学等が自ら確保する
 - 1・2回目接種と同様、1会場当たり1,000人以上への接種を行うことを想定（1000人に満たない場合は要相談）
- (4) 申込み方法
 - 令和3年12月中旬以降、V-SYS上で稼働予定の入力画面にて申込みを実施
 - 1・2回目接種から接種会場の所在地や提携医療機関等の変更は可能
- (5) ワクチンの供給
 - 令和4年1月以降、V-SYS上で稼働予定の入力画面にて接種計画（2週間ごとの接種予定人数と実施時期）を登録
 - 厚生労働省は、提出された接種計画に基づき、2週間ごとにワクチン供給量（会場ごとの分配量）を決定
 - ※ 仮に、輸入の遅延等による供給量の低下や予期せぬ需要の増大により需給バランスが乱れた場合には、厚生労働省にて査定を実施して分配量を決定することで需給バランスを調整。
- (6) 接種券
 - 接種時には、接種券と予診票（接種券一体型予診票が基本）の持参を原則とする
- (7) ワクチンの取扱い
 - 残余ワクチンの回収は行わない
 - 配送されたワクチンで一定以上の廃棄が生じた場合は、原則として公表

(1・2回目職域接種を実施いただいた企業・大学等の皆様へ)

職域追加接種（3回目接種）の申込から接種まで

12月13日（月）から、申込受付を開始します。

接種開始までに行っていただく主な作業は、**実施の申込（基本情報の確認・更新）**（Step1）と **接種計画の登録**（Step3）です。

Step1

実施の申込（基本情報の確認・更新） 12/13(月)～

- V-SYS上で、基本情報（企業・会場・医療機関等の情報）を確認・更新の上、3回目の職域接種についてお申込みいただきます。
- 詳細な手順は、下記HP「職域接種に関するお知らせ」をご確認ください。
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_shokuiki.html)

申込

Step 2

内容確認

- 記載不備や確認事項等があればご連絡いたします。
※基本情報の更新内容によっては、V-SYS ID・医療機関コードの新規発行や、市町村との集合契約への新規加入が必要になる場合があります。
この場合、1・2回目接種と同様、国が業務を代行・補助します。

確認

Step 3

接種計画の登録 1月中旬（予定）～

- V-SYS上で、接種計画（2週間ごとのワクチン・針・シリンジの必要量）をご登録いただきます。

登録

Step 4

国から職域接種会場へ物品※を配送します

※ -20℃冷凍庫、ワクチン、針・シリンジ等

配送

Step 5

接種開始

申込等のご相談につきましては、11/29(月)以降に下記窓口にて受け付けます。

■ 職域接種コンシェルジュ／職域追加接種（3回目接種）に係る相談窓口

電話番号：050-3645-9714 ※営業時間 9:00～17:00（平日のみ）

つながりにくい時は・・・ V-SYSホーム画面のWebフォームよりお問合せ下さい。

※「職域接種に関するお問合せ」> 追加接種（3回目接種）

大規模集団接種会場について

新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）を行うため、県の大規模集団接種会場を県内6か所に開設します。

大規模集団接種会場	名古屋空港ターミナルビル (豊山町)	藤田医科大学 (豊明市)	愛知医科大学 メディカルセンター (岡崎市)	藤田医科大学 岡崎医療センター (岡崎市)	J A 愛知厚生連 安城更生病院 (安城市)	東三河総合庁舎 (豊橋市)	
開設期間 ※すべての会場において 7月末まで延長予定	2022年1月24日(月)～7月31日(日)		2022年1月31日(月)～7月31日(日)		2022年2月5日(土) ～7月31日(日) (土日のみ)	2022年2月7日(月) ～7月31日(日)	
〔1・2回目 開設期間〕	〔2021年5月24日(月)～11月21日(日)〕		〔2021年7月3日(土)～11月19日(金)〕		〔2021年7月3日(土) ～11月6日(土)〕	〔2021年7月10日(土) ～11月25日(木)〕	
接種規模	1日最大1,000人	1日最大500人	(土日)1日最大500人 (平日)1日最大300人	1日最大500人	1日最大500人 (土日のみ)	1日最大400人	
対象者	新型コロナワクチンの2回目接種を完了し、県内に在住、在勤、在学する方						
接種 体制	開設時間	9時～21時	12時～22時	(土日)10時～19時 (平日)13時～20時	(土日)9時～17時 (平日)12時～20時	(土日のみ)9時～17時	11時～20時
	接種従事者	県がんセンターの医師・看護師等のほか、大学病院・公的病院の医師・看護師、歯科医師等	藤田医科大学病院の医師・看護師等	愛知医科大学メディカルセンターの医師・看護師等	藤田医科大学岡崎医療センターの医師・看護師等	J A 愛知厚生連の医師・看護師等	豊橋市民病院を中心とした東三河5市の医療機関の医師・看護師等
	予約方法	県のLINE予約システム、コールセンターでの電話受付					
	交通手段	最寄り駅等からシャトルバスを運行(駐車場あり)					公共交通機関 (駐車場あり)
使用ワクチン	モデルナ社ワクチン(薬事承認申請中)						

<国の動き>

- 11月15日、第26回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会を開催し、新型コロナウイルスワクチンの小児(5歳以上11歳以下)接種の実施について議論したが、結論は出ず引き続き検討することとなった。
- 11月16日、都道府県及び市区町村に対して、小児接種の実施が決定した場合、速やかに接種を開始するため、接種体制の検討を進めるよう通知した。

I 接種の概要について

1 接種対象者

5歳以上11歳以下の県民約47万5千人(住民基本台帳人口による)

2 開始時期

早ければ2022年2月頃

3 ワクチン及び接種回数等

小児専用のファイザー社ワクチン(12歳以上用のファイザー社ワクチンとは希釈、容量等が異なる)を2回接種。接種間隔は未定。*11月10日薬事承認申請(申請中)

4 ワクチンの供給

国は、ファイザー社との間で小児用ワクチンも含めて供給契約を締結済みであり、早ければ2022年2月頃から接種可能となる可能性があるとしているが、都道府県ごとの小児用ワクチンの割当量及び配送時期を決定していないため、現時点では未定である。

II 接種の実施医療機関について

国は、小児接種の実施医療機関の必須事項を以下のとおりとしている。

- 小児用ファイザー社ワクチンの説明書及び予診票を用いて、被接種者及び保護者に対し、有効性と安全性について丁寧に説明した上で同意の確認ができること。
- 被接種者である小児に副反応が生じた場合に適切に初期対応ができ、入院等が必要となった場合にも適切な医療機関に引き継ぐ等の対応ができること。

*国からの事務連絡「5歳以上11歳以下の者への新型コロナウイルスワクチン接種に向けた接種体制の準備について」(2021年11月16日付け)抜粋